「アルコール健康障がい」かかりつけ医早期治療介入促進事業

背景

・アルコール依存症などの「アルコール健康障がい」は、本人の身体への影響のみならず、家族や周囲の人への深刻な影響や重大な社会問題を生じさせる危険性が高い。

・治療や回復には、心身ともに多大な時間と負担を要することにより、早期における治療等の介入が重要となる。

目的

・日常診療において、かかりつけ医等が早期に飲酒問題に気づき、適切な治療および関係機関連携等を行うことで、重症化を防ぎ、早期回復につなげる。

内容

・かかりつけ医が「アルコール健康障がい」についての正しい理解と治療介入を行えるよう、治療や患者指導に関する動画教材を作成する。

・作成した動画はインターネット上にセキュリティーを付加して掲載し、地域で開催される医師研修で活用するほか、かかりつけ医が必要時に診療所等で視聴し、患者指導の実際に活用する。

動画教材の内容（案）　（全15分）2部構成

導入編（約3分）

・大阪府におけるアルコール健康障がいの現状を統計データなどを含めて解説する。

・早期介入の重要性についてのガイダンスを行う。

実践編（約12分）

①飲酒コントロール編―節酒

②多量飲酒編－断酒

アルコール健康障がいの診断と治療について、診療場面における具体的な指導法例を提示する。

（すでに大阪府で作成した教材を活用した指導教材を使用）

治療・支援ネットワーク動画教材の活動